

「京都の畜産の秘密・魅力」について出前語らい

京都府立大学で開講されている、3大学（京都府立大、京都府立医科大、京都工芸繊維大学）連携教養教育科目「京都の農林業」において、1回生の学生約200名に対して1月21日に「京都の畜産の秘密・魅力」をテーマに「出前語らい」を行いました。

授業では、試験研究成果や畜産振興の取組に加え、歴史や畜産物の消費傾向なども紹介しました。

受講者からは、「乳牛の暑熱対策用衣服（ウシブル）の研究の話が面白かった」「京都でも畜産があり、高品質な牛肉が生産されていることを知り驚いた」「京都の畜産の歴史を知ることが出来た」等の感想が多く出され、京都の畜産物や試験研究に対する理解を深めてもらいました。

今後も出前語らいなどを活用して、積極的に当センターの試験研究内容や畜産

の情報発信に努めていきます。※1 牛群検定：農家ごとに所有牛全頭の乳量や乳成分、繁殖等の成績を毎月記録し、集計・分析して経営や乳牛の健康チェックを行うもの。



京都市民の畜産物消費金額が全国でトップレベルであること等、畜産業と生活の関わりについて紹介

畜産センター